

タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和7年2月11日(火) 午前10時～11時30分
場 所 駒林西集会所（駒林西自治会）
参加者 26人



主な意見等

参加者 3点ほどお聞きしたいと思います。踏切の拡張について、また、このエリアの小学校周辺は、夜間帯、非常に暗いということで、街灯設置及び安全対策について、最後にぴんしゃん体操について、中心になっているボランティアの人が高齢になっていることもあり、地域で引き継いでいきたいと考えていますが、なかなかハードルが高いと感じています。うまく運営を続けていく方法があればお聞きしたいです。

市長 踏切を改良しなければ拡張できないということで、県道を管轄している埼玉県に要望しているほか、東武東上線改善対策協議会でも重点項目として要望を出しておりますが、なかなか進まないというのが実情です。

続いて防犯灯についてですが、設置にあたっては、まぶしすぎるといご指摘をいただくこともあるので、近隣の住民の方からご理解をいただかないといけませんし、畑に隣接するような場所の場合、農作物への影響も考慮しないといけません。あくまでお願いベースで進めることなので、設置できない場所もあります。具体的にこの場所に設置してほしいというご要望があれば、そのような課題を解消しながら進めてまいりたいと思います。

ぴんしゃん体操については、介護予防の観点からもぜひとも進めて

いただきたいので、担当課を通じてサポートしていきたいと思
います。

参加者 防犯カメラを自分でも設置しようと考えています。設置費用に
対する補助金の予定はありますか。

温暖化の影響でこれまでは雪が降らなかったような地域にも雪が
降る可能性があります。新潟県の湯沢町では除雪作業の仕組みが非常
に進んでいて、そういった事例を参考に雪の対策を検討してもらいた
いと思います。

市長 防犯カメラのご要望は市内全域で多くなっています。補助金につ
いては、予算化はしていませんが、犯罪の抑止効果については十分認識
しています。一方で、映像の管理に関しては、肖像権の問題もありま
す。過去に商店街に設置した事例がございますので、同様に行政で設
置するか補助金という形にした方がいいのか、検討は必要だと思いま
す。

2点目の雪対策ですが、やはり雪国と比較すると優先度は変わって
きますが、地球全体の気象状況が変わってきている中で、貴重なご提
言をいただいたと思えます。ありがとうございます。

参加者 2014年に改正された都市再生特別措置法に基づいて、ふじみ野市
でも立地適正化計画が策定され、昨年12月に住民説明会が行われ、
1月10日までパブリックコメントが実施されました。この計画では、
都市機能誘導区域、居住誘導区域を定めるようなのですが、駒西地区
は、どのような区域に設定されているか、また設定されることでどの
ような影響があるか教えてください。

先程お話がありました、踏切の拡幅の件ですが、ぜひ強力に進めて
いただきたいと思えます。ヤオコー駒林店のところの交差点の拡幅計
画がどのようになっているか教えてください。

信号機の設置についても要望します。駒西小のプールの方から県道
に出てくるところの交差点ですが、駅への動線で交通量も多く、直線
になっているということもあり、車のスピードも出ていますので設置
していただきたいです。また、その交差点から駅の方に向かう路線で
すが、横断歩道の路面表示がかすれていますので補修をお願いしたい

です。

植栽の関係ですが、ヤオコーの店舗北側の歩道上に植栽があるのですが、大きくなりすぎて見通しが悪くなっています。中村眼科側は小さく刈りこんであるので同じようにしていただきたいです。

市長 立地適正化計画についてですが、駒西地区は、居住誘導区域という位置づけになりますので、特に影響はありません。

踏切の拡幅は繰り返しになりますが、県道に面する踏切であることと東武鉄道の敷地であることから、それぞれ要望していきたいと思います。

路面表示については、横断歩道のダイヤモンドマークなど警察の管轄のものは警察に、それから県が管理している植栽については、県に要望していきたいと思います。

参加者 お引越ししてくる方で自治会に入ってくださいの方というのがここ3年くらい全くいらっしゃいません。市役所での届出のときに自治会への加入のご案内のチラシを配布していただいているのは承知していますが、それでも加入はしていただけていない状態です。以前は会員が600世帯くらいでしたが、今は400世帯ちょっとくらいになっています。行事も増えていて、予算も厳しくなっています。ホームページで加入を呼びかけたりしていますが、窓口でチラシを渡すだけでなく、自治会の重要性をきちんと説明してもらうような工夫をお願いしたいです。

また、事業ごとに市から4万円補助金が出ていますが、会費も減っている中、大きな行事では予算が全く足りず何とか手作りで頑張っていますが、自治会の負担も役員の負担も増えています。もっと活動内容に応じた見直しをしていただけないでしょうか。

市長 自治組織の加入率の低下は全市的に課題となっていて、転入してこられた方が加入する割合が低くなっているというのが実態です。自治会に加入することに対して、メリットは何かと聞かれることがありますが、災害発生時に限らず、例えばお子さんがいらっしゃるご家庭であれば地域の方が見守りをしてくださって、見えないメリットがあるはずです。本来自治組織に関しては、行政が特別なことをするもので

はなかったと思いますが、時代が変わり、地域力を高めるということが行政の責任としてやるべきことになってきていて、連合会の会長たちと一緒に考えていきたいと思っています。

補助金についてですが、加入促進のため、活発な活動をしていただいていることを考えると、比率は検討してもいいのではないかと思います。

参加者 ヤオコーの交差点から新田保育園に向かう道路ですが、狭くて車のすれ違いが難しいため、一方通行の規制をしていただきたいと思います。またこの道路ですが、体育館の脇に歩道がありますが、非常に暗いので、街灯をつけていただきたいと思います。

ヤオコーの交差点ですが、拡幅は難しいと思いますので、電柱を移設していただけないでしょうか。この地域はゾーン 30 の規制をしてもらっていますが、止まれの表示が消えてしまっているところがありますので、路面表示を修繕していただきたいと思います。特に中村眼科からヤオコーに向かって横断歩道があるのですが、そこは見えなくなってしまって危ないので対応していただきたいと思います。

市長 路面表示については、県が管轄しているものは県に要望していきます。電柱の移設は関係者間で協議はしていますが、事業地内ということもあり、進んでいないというのが実態ですが、川越県土整備事務所に要望はしていきたいと思っています。

暗い部分については、街灯が設置可能な場所については、対応していきたいと思っています。

交通規制のご要望ですが、一方通行にした場合、当該道路の交通量が増えるのは必然ですが、隣接した別の道の交通量も増えるという別の課題も出てきます。一方通行にする方向も含めて地域の合意形成が必要です。実施後に想定した結果が得られなかったとしても、解除される確率はほぼないので、実施に至るには相当慎重な検討が必要です。